

令和3年度 近畿地方 DMAT ブロック訓練に参加しました。



12月18日(土)に和歌山県で行われた大規模災害の訓練に、当センターのDMATとして参加してきました。今回は、「和歌山県紀北地域で最大震度7の地震発生による大規模な被害が発生した」という想定で、近畿2府4県の医療機関により合同で行われました。

当日の朝、DMATカーで岸和田SAへ集合し、そこから和歌山市内にある加太SCUへ移動しました。多数集まったDMATと協力して、傷病者の広域医療搬送訓練を実施しました。

加太 SCU



SCUとは、Staging Care Unitの略称で、大規模災害時に傷病者を被災地外に搬送するために立ち上げる「広域医療搬送拠点臨時医療施設」のことです。近隣では八尾SCUがあります。

実際の活動の様子



搬入されてくる傷病者をチームで診療し、被災地域外へ搬出するための空路や陸路の搬送に耐えられるよう、状態安定化の処置を行います。搬送手段が決定すれば、次々に搬出していきます。



訓練終了!

搬送に使われた航空機



当センターは、中河内地域の災害拠点病院であり、大規模災害発生時は多数の傷病者を受け入れる役割があります。災害時の指揮系統を確立し、一つでも多くの命を救うために、トリアージや広域医療搬送が実施されます。突然訪れる災害に備えて、組織全体での準備や繰り返しの訓練が重要と考えています。

救急看護認定看護師
河野久世